

## 3月3日「耳の日」に合わせ 情報番組『なんしょん』で全編手話放送を実施

報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は3月3日（木）の「耳の日」に合わせて、手話への理解や普及を目指し、生放送情報番組『なんしょん』（毎週月～金曜16：15～16：45）全編において手話放送を実施します。

OHKは、1993年より“手話は言語”を理念に、聴覚障害者・手話通訳士・テレビ局の3者で「手話放送委員会」を立ち上げ、的確な手話表現を追求しながら手話放送番組「手話が語る福祉」の制作を続けてきました。また昨年9月23日の「手話言語の国際デー」に実施した「OHK“手話は言語”キャンペーン」では、OHK初の試みとして夕方のローカルニュースでの全編手話放送や、特別番組での手話協賛によるビジネスモデルの事例を作るなど、情報のバリアフリーに関して活動範囲を広げてきました。

今回の取組みは、聴覚障害者や手話通訳士の方々から「ニュースだけでなく娯楽番組に手話をつけて欲しい」、「『なんしょん』を手話で見たいという要望がもっとも多い」など、情報番組における手話放送のニーズがあることから実施を決めたもので、生放送の情報番組での全編手話放送はOHKでは初の試みです。

生放送での手話は難易度が高く、特にスタジオトークが中心となる情報番組では出演者と手話通訳士とのコミュニケーションが大変重要となるため、手話通訳士の方々には、実際の生放送に合わせた事前リハーサルや、録画した番組に合わせて手話通訳の練習を行うなど、放送に向けた準備を進めています。

当日は通常のグルメ・イベント情報だけでなく、『なんしょん』で毎週月曜に放送している手話言語を紹介する「手話輪わ（しゅわわわ）」のコーナーを「耳の日」特別版として放送を予定しています。

OHKでは、今回の「耳の日」に合わせての全編手話放送の経験を活かして、今後も聴覚障害者だけでなく、すべての人にあまねく情報を届ける「情報のバリアフリー」を目指して、放送の充実に向けた取り組みを進めてまいります。



事前リハーサルの様子



「手話輪わ（しゅわわわ）」  
の一場面

### 【3月3日・耳の日とは】

難聴と言語障害をもつ人々の悩みを少しでも解決したいという社会福祉への願いから始められたもので、日本耳鼻咽喉科学会の提案により、1956年に制定されました。



OHKは、地球規模の社会課題の解決を目指す「SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)」達成に向けた取り組みを推進するため、国連が世界の報道機関に対して協力を呼びかけている「SDGメディア・コンパクト」に加盟しています。